

TGM

欠点検査の需要増

不良品予防、品質向上に貢献

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、業界の高品質化、省人化、生産性向上などの要望を受け、ガラスの表面検査装置を提案する。イタリア・デルタマックス社の次世代複層ライン用縦型ガラス検査装置「Glass Inspector Q PLUS(ガラスインスペクター・キュープラス)」、多用途向け水平型ガラス検査装置「Glass Inspector EVO(ガラスインスペクター・エボ)」など、指紋、水滴の乾燥跡、薄い引つき傷などを検知し、不良品発生の予防などガラスの品質向上に貢献する。欠点検査に関する需要は高まっており、国内販売実績を伸ばしている。

「ガラスインスペクター・キュープラス」は、従来の欠点検査装置では検知が難しかった、指紋、水滴の乾燥跡、薄い引つき傷などを自動で検査したいという現場二

一度の撮影で、異なる光源による2種の画像を取得。指紋など薄い欠点を強調した画像を取得できるようになった。専用アルゴリズム「ハロディテクター」を採用し、取

得した画像上で検査難易度が高い欠点を正しく判別できる。「ハロディテクター」は、ハロ(水滴乾燥後の輪状の薄い跡)を検知するために開発された。2種の画像を取得

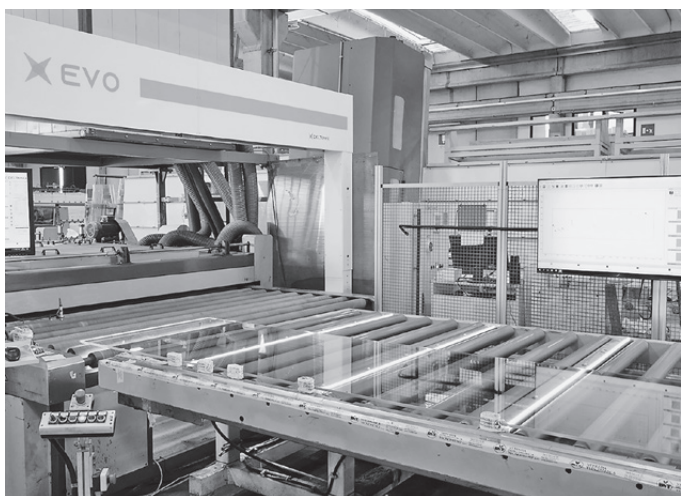
し、実際の現場で求められる機能、品質のフィードバックを受けながら製品開発をしてきた経緯があり、現在も「マーケットイン」を基本コンセプトとしている。他にも、切断機のテーブル前に設置し、素板の欠点マークを読み取って切断パターン最適化ソフトにフィードバックすることで最適化をする検査装置「Glass Inspector OPT(ガラスインスペクター・オーピーティー)」、強化ガラスの破砕数検査装置「FLOG(フロッグ)」、欠点データ分析ソフトウェア「プロダクション・アナライザー」などをラインアップしている。

する特別なハードウェアとソフトウェア(アルゴリズム)の組み合わせによって、指紋、水滴の乾燥跡、ローラーマーク、吸盤跡、コルク緩衝材の残りなど多彩な欠点を検査できる。メーカー各社の複層ラインに後付けできる。

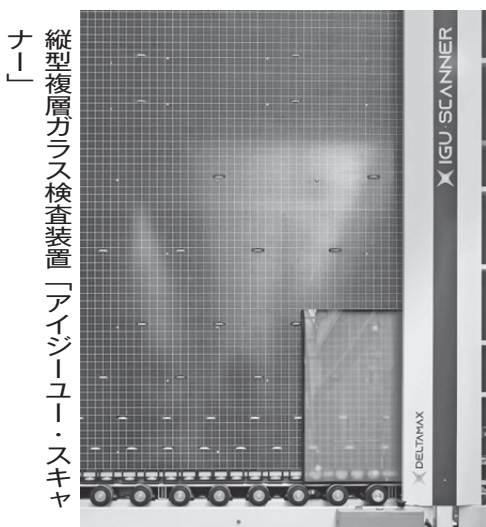
ンへの導入実績もある。「アイジーユー・スキャナー」は、縦型の複層ガラス欠点検査装置。新製品で、縦型・水平型検査装置で培った技術を集め、新しく複層ガラス自体の自動検査を可能にした。あらゆる形状の複層ガラスに対応しており、最大80mm厚のトリプルガラスにも対応。複層ガラスの気泡、内包物、傷、汚れ、ブチルを含むさまざまな種類の残留物の検知に加えて、スペーサーの位置の正確さ(膨らみやひずみ)も検出することが可能。



複層ライン用縦型ガラス検査装置「ガラスインスペクター・キュープラス」



多用途向け水平型ガラス検査装置「ガラスインスペクター・エボ」



縦型複層ガラス検査装置「アイジーユー・スキャナー」

協業、パートナーの機械メーカーと共同で、欠点検査装置でNGとなったガラスを全自動でラインから取り除くシステムを構築。家電用ガラスライ

業界の他、鉄鋼業界、石材業界など、幅広い業界向けに自社開発の各種欠点検査装置などを提供してきた。創業当初から客と密な信頼関係を構築